

令和4年度 事業報告

社会福祉法人磐田厚生会 おおふじ学園

目 次

1. 法人	1
2. おおふじ学園	4
(1) 生活介護事業	9
(2) 障害児通所支援事業	16
(3) 短期入所事業	18
(4) 日中一時支援事業	19
(5) 入浴サービス事業	20
(6) 相談支援事業	21

1. 法人

(1) 理事会、評議員会の開催

回	開催日	会場	審議事項(概要)
第208回 理事会	R4.6.7	研修棟	1 令和3年度社会福祉法人磐田厚生会法人及び施設の事業報告について 2 令和3年度社会福祉法人磐田厚生会法人及び施設の決算報告について 3 社会福祉法人磐田厚生会社会福祉充実計画について 4 第77回社会福祉法人磐田厚生会評議員会の開催について 報告事項 (1)人事異動について (2)予備費充当使用の報告について (3)資金運用報告について
第77回 評議員会	4.6.22	研修棟	1 令和3年度社会福祉法人磐田厚生会法人及び施設の事業報告について 2 令和3年度社会福祉法人磐田厚生会法人及び施設の決算報告について 3 社会福祉法人磐田厚生会社会福祉充実計画について 報告事項 (1)人事異動について (2)予備費充当使用の報告について (3)資金運用報告について
第209回 理事会	4.11.15	研修棟	1 令和4年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園上半期事業報告について 2 令和4年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園上半期会計報告について 3 令和4年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園拠点区分第1次補正予算について 4 市有財産(障害者陶芸作業所)の購入について 5 第78回社会福祉法人磐田厚生会評議員会開催について 報告事項 (1)新型コロナウイルス感染者の発生について (2)台風15号(9月24日)の被害について (3)第三者委員について (4)社会福祉法人磐田厚生会資金運用報告について (5)人事異動について
第78回評 議員会	4.11.24	研修棟	1 令和4年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園上半期事業報告について 2 令和4年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園上半期会計報告について

			<p>3 令和4年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園拠点区分第1次補正について</p> <p>4 市有財産（障害者陶芸作業所）の購入について 報告事項</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染者の発生について</p> <p>(2)台風15号(9月24日)の被害について</p> <p>(3)第三者委員について</p> <p>(4)社会福祉法人磐田厚生会資金運用報告について</p> <p>(5)人事異動について</p>
第210回理事会	R5.3.14	研修棟	<p>1 令和4年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園拠点区分第2次補正予算について</p> <p>2 令和5年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園事業計画について</p> <p>3 令和5年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園拠点区分当初予算について</p> <p>4 社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園給与規程の一部改正について</p> <p>5 社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園臨時職員就業規則の一部改正について</p> <p>6 社会福祉法人磐田厚生会役員等の報酬等の支給基準の一部改正について</p> <p>7 社会福祉法人磐田厚生会定款の一部変更について</p> <p>8 社会福祉法人磐田厚生会資金運用報告及び計画について</p> <p>9 第79回社会福祉法人磐田厚生会評議員会の開催について 報告事項</p> <p>(1)職員の異動について</p> <p>(2)役員賠償責任保険について</p>
第79回評議員会	5.3.22	研修棟	<p>1 令和4年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園拠点区分第2次補正予算について</p> <p>2 令和5年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園事業計画について</p> <p>3 令和5年度社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園拠点区分当初予算について</p> <p>4 社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園給与規程の一部改正について</p> <p>5 社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園臨時職員就業規則の一部改正について</p> <p>6 社会福祉法人磐田厚生会役員等の報酬等の支給基準の一部改正について</p> <p>7 社会福祉法人磐田厚生会定款の一部変更について</p> <p>8 社会福祉法人磐田厚生会資金運用報告及び計画について</p>

			報告事項 (1)職員の異動について (2)役員賠償責任保険について
--	--	--	-----------------------------------------

(2) 監査等

区分	監査日	執 行 者	指 摘 事 項
監事監査	R4. 5. 30	磐田厚生会監事	特になし
監事監査	R4. 11. 7	磐田厚生会監事	特になし

2. おおふじ学園

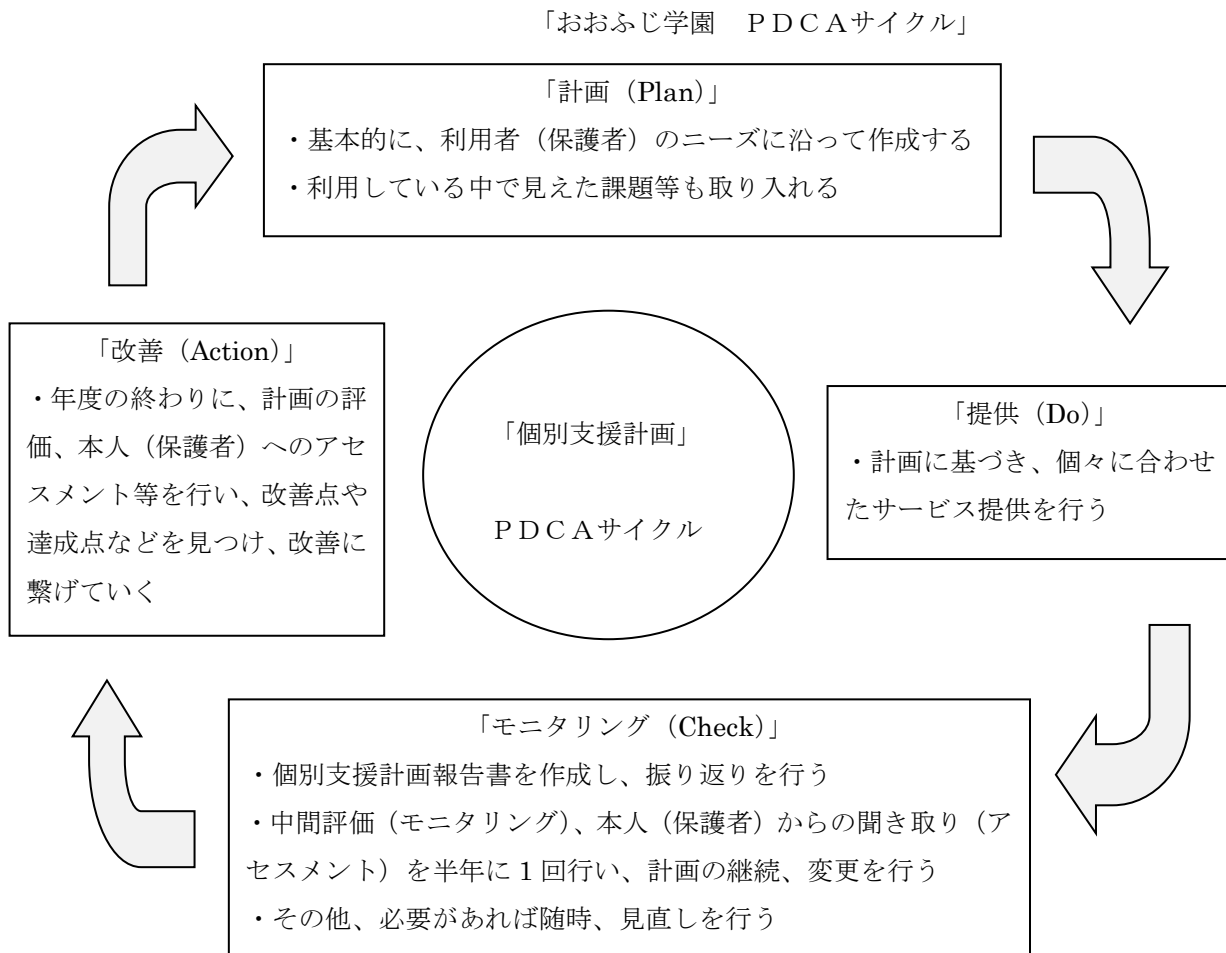
① 個別支援計画

ア 目的

- 1 利用者の障害の状況とニーズを把握し、個別にきめ細かく支援計画を作成する。
- 2 立案した支援計画を本人（保護者）の同意を得て、職員への周知、実践に役立てる。
- 3 実践を記録に残し、P D C Aサイクルを活用し利用者本位のサービス提供をしていく。

イ 内容（支援計画策定と実践の流れ）

- 4～8月：個別支援計画に沿って利用者の日常生活支援を実施
- 8～9月：前期の支援結果を検証し個別支援計画の見直しを実施
- 10～2月：見直した個別支援計画に沿って利用者の日常生活支援を実施
- 2～3月：一年の支援結果を検証し個別支援計画の見直しを実施



例えば、暑さが苦手な方がいて、暑いと自傷行為を行うため、送迎車内や部屋の中を冷房で事前に冷やして対応する計画を立てた。実際に冷房や扇風機を使用して支援を行い自傷行為は少なくなったが、ご家族とアセスメントをした際、自傷行為をもっと減らせる方法はないかという内容のお話があった。職員間でモニタリングをして検討した結果、冷房は継続しながら凍らせた保冷剤やペットボトルを使用して、体をクーリングする支援を追加することになった。

② 学園行事

月/日	学園行事
R4. 4. 1	始業式・お花見会
5	血液検査・尿・便検査
12	胸部 X 線検査・尿・便検査
20	新型コロナワクチン接種（3 回目）
5. 17	パンバイキング
6. 3	内科健診
17	紫陽花音楽会
7. 18	プール開き
10. 21	開設 40 周年記念式典
28	秋祭り
11. 4	インフルエンザ予防接種
24	ビンゴ大会
12. 2	新型コロナワクチン接種（4 回目）
15～19	愛護ギャラリー展
R5. 1. 9	成人を祝う会
2. 3	節分の会
3. 10	お楽しみ給食
28	お花見会
31	終業式

定例行事：防災訓練 英会話教室 外出

学園行事については、コロナの影響があり、昨年度に引き続き今年度も開催の中止や規模を縮小して実施し、保護者の方々の参加や外部の方々の参加がない中で行事を実施した。

そのような中でもおおふじ学園開設 40 周年記念式典が、皆様のご協力のおかげで今年は開催することができた。長年おおふじ学園に通ってくださったご利用者の方や、おおふじ学園にご尽力をくださった方々へ表彰状を送り、感謝の思いをお伝えした。

③ 各種会議及び研修会

開催日	会議・研修名	職名	参加者	主催者
R4. 4. 25	社会福祉法人・施設事務職員税務実務講座（リモート）	事務員	田中	県社協
4. 28	静岡県知的障害者福祉協会第1回会員総会（リモート）	園長	飯田	県知協
5. 15	磐田市手をつなぐ育成会総会	園長	飯田	育成会
5. 27	施設長、主任者等合同会議（リモート）	主任	深谷	県知協
5. 30	緊急時の事業所における受け入れについて	園長	飯田	磐相談
5. 30	放課後等デイサービス事業所連絡会	主任	深谷	袋特学
6. 9	第56回静岡県知的障害者福祉協会大会	園長	飯田	県知協
6. 23	袋井特別支援学校施設見学会	主任	深谷	袋特学
6. 27	ケース会議開催	園長	飯田	磐田市
6. 28	中東遠圏域自立支援協議会 重心部会 第1回コア会議（リモート）	副主任	齋藤	中遠自協
6. 28	福祉職員キャリアパス対応生涯研修/1日目	支援員	山崎	県社協
7. 5	静岡県知的障害者福祉協会職員研修	支援員	中村	県知協
7. 20	福祉職員キャリアパス対応生涯研修/2日目	支援員	山崎	県社協
7. 21	福祉職員キャリアパス対応生涯研修/3日目	支援員	山崎	県社協
7. 22	福祉機器を用いた腰痛対策・環境整備 WEB セミナー （リモート）	支援員	玉木	県社協
8. 2	第7回磐田市社会福祉法人連絡会	園長	飯田	磐社協
8. 30	社会福祉法人施設事務職員経理応用講座（リモート）	事務員	田中	県社協
8. 30	地域生活拠点を考える	園長	飯田	中遠自協
9. 6	第1回静岡県西部地区施設連絡会（リモート）	園長	飯田	西施連
9. 15	発達障害の理解講座（リモート）	主任	深谷	県社協
10. 27	社会福祉法人施設事務職員会計事務専門講座 （リモート）	事務員	田中	県社協
11. 18	職員研修所講座（リモート）	支援員	望月	県知協
11. 23	サービス管理責任者等更新研修	主任	深谷	県健福部
11. 25	第3回地域生活支援部会	主任	深谷	中遠自協
11. 29	リ・トラウマ現象の怖さについて（リモート）	支援員	袴田	県知協
12. 8	静岡県知的障害者福祉協会事務部会研究集会研究集会 （リモート）	支援員	玉木	県知協
12. 14	福祉サービス苦情解決研修会	主任	深谷	県社協
12. 16	安全運転管理者講習会	主任	深谷	県公安
12. 13				
12. 15	第31回愛護ギャラリー展実行委員業務	支援員	鈴木	県知協
12. 17				
12. 26	中東遠圏域自立支援協議会代表者会議	園長	飯田	中遠自協
R5. 1. 23	磐田市社会福祉法人連絡会合同研修会（リモート）	支援員	齋藤	磐社協

R5. 1. 24	静岡 DWAT 登録員養成研修（リモート）	支援員	山崎	県社協
2. 8	社会福祉法人決算事務講座（リモート）	事務員	田中	県社協
2. 17	磐田地区安全運転管理協会事業主研修会	園長	飯田	磐安管
3. 16	社会福祉法人・社会福祉施設運営管理研修会（リモート）	主任	深谷	県社協

④ 保健衛生

ア 利用者

- ・毎月体重測定を行い、体重表を作成し、家庭に伝えて体重の増減に配慮した。
- ・体重の増減を伝えるなど、家庭と相談し家庭の要望により、昼食の量や活動内の運動に配慮をした。
- ・血圧が心配な方には、必要時に血圧測定を行い結果を家庭に伝え、利用者の健康を保つよう配慮した。
- ・送迎乗車時、登園時に検温、手指消毒を実施した。密集密接を避けるため活動班や昼食時等日中の過ごし方に配慮した。

定期健診

静岡県予防医学協会に依頼し、定期健診を実施した。

(a) 胸部 X 線検査の実施

胸部レントゲン車が来園し、胸部 X 線検査を実施した。

(b) 尿検査・便検査

尿・便検査を実施した。

(c) 血液検査

おおふじ学園避難スペースで採血を実施した。

一部利用者については、かかりつけ医にて実施した。

※定期健診の結果は、持病のある方以外の異常は見られなかった。

内科健診

おおふじ学園相談支援室にて、嘱託医（磐田在宅医療クリニック 福本先生）により、内科健診を実施した。一部利用者はかかりつけ医で行い、全員内科健診を実施した。

その他

インフルエンザ予防接種、新型コロナウイルスワクチン接種

希望者に対して嘱託医（磐田在宅医療クリニック 福本先生）により実施した。

イ 職員

- ・健康診断を実施した。
- ・保菌検査を実施した。
- ・コロナ抗原検査を実施した。（R4/8/15）

⑤ 寄付金及び寄付物品

令和4年度 寄付金（敬称略）

No.	年月日	寄付者氏名	寄付金額
1	R4. 8. 28	萩田俊子 様	20,000 円
2	R4. 10. 21	鷹野 豊 様	100,000 円
3	R4. 12. 26	東海ケミカル 様	5,000 円
4	R4. 12. 26	東海ケミカル 様	7,000 円
5	R5. 3. 17	おおふじ学園保護者会 様	1,000,000 円

令和4年度 寄付物品

No.	年月日	寄付物品名	寄付者氏名	評価額
1	R4. 6. 15	新茶 1kg	静香園製茶（株）様	
2	R4. 10. 7	メロン 12 玉	静岡県温室農業協同組合 磐田支所 様	
3	R4. 10. 25	メロン 12 玉	静岡クラウンメロン支所 青年部 様	
4	R4. 12. 2	車椅子 1 台	一般社団法人生命保険協会 様	40,600 円
5	R4. 12. 8	りんご 36 個	NTN 労働組合 磐田支部 様	
6	R5. 2. 8	タオル・石鹸	磐田市シニアクラブ 大藤支部 様	

⑥ ボランティア（敬称略）

英会話教室・・・メロウズ・ダリル
ガラス拭き、大掃除・・・おおふじ学園保護者

⑦ 実習及び研修

産業現場等における実習（静岡県立袋井特別支援学校）・・・3名
産業現場等における実習（静岡県立浜北特別支援学校）・・・2名
保育実習（静岡子ども福祉専門学校）・・・1名
保育実習（浜松未来総合専門学校）・・・1名
福祉体験教育（大藤小学校）・・・4年生全員

⑧ 施設見学

静岡県立袋井特別支援学校（生徒、保護者）・・・3件
静岡県立浜北特別支援学校（生徒、保護者）・・・1件
城山中支援級（生徒、保護者、妹）・・・1件
他事業所・・・（本人、保護者）・・・1件

⑨ 苦情の状況 0件

(1) 生活介護事業

① 事業の目的

指定生活介護事業所おおふじ学園は、利用者がその生活において主体的に過ごし、自己実現及び自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、事業所機能を活かした日常生活支援や作業活動支援など必要な支援をすることを目的として、以下に掲げる支援事業を行います。

② 対象者

知的障害者、重症心身障害者

③ 利用者の状況

男女別年齢別利用者数

(単位:人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	0	8	6	5	4	2	25
女	0	7	3	3	3	0	16
合計	0	15	9	8	7	2	41

男女別障害支援区分

(単位:人)

区分	3	4	5	6	合計
男	0	7	6	12	25
女	0	2	3	11	16
合計	0	9	9	23	41

身体障害者等級区分表

(単位:人)

区分	1	2	3	4	5	合計
男	8	0	3	0	1	12
女	9	1	0	0	0	10
合計	17	1	3	0	1	22

④ 利用者の入退園

令和4年 4月1日: 1名入園

⑤ 月別利用者数（出席率）

※小数点第2以下四捨五入

※総利用者数（人）＝開園日数×利用登録者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開園日数（日）	21	22	22	21	14	21
総利用者数（人）	861	894	880	840	574	861
延べ利用者数（人）	675	697	706	686	392	630
延べ欠席者数（人）	186	197	174	154	182	231
ほのぼの出席率	87.0%	86.2%	90.4%	91.5%	78.8%	82.4%
悠遊出席率	57.5%	58.3%	56.4%	58.7%	42.9%	50.8%
合 計	78.4%	78.0%	80.2%	81.7%	68.3%	73.2%

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計（平均）
開園日数（日）	21	22	20	20	20	23	247日
総利用者数（人）	861	902	820	820	820	943	10076人
延べ利用者数（人）	664	718	591	597	650	730	7736人
延べ欠席者数（人）	197	184	229	223	170	213	2340人
ほのぼの出席率	84.9%	88.2%	80.0%	78.8%	87.4%	84.1%	85.2%
悠遊出席率	58.3%	58.7%	52.9%	58.3%	59.6%	61.2%	56.6%
合 計	77.1%	79.6%	72.1%	72.8%	79.3%	77.4%	76.8%

- ・学園内で2度コロナ感染が出た影響で、前年度と比較すると出席率は全体で3,4%減少。
- ・インフルエンザの流行なし。

⑥ 送迎サービス

ア 目的

おおふじ学園利用者を対象に、保護者の送迎の負担を軽減するため施設と自宅間で送迎サービスを行うことを目的とする。

イ 内容

- ・運転手及び介助職員で送迎実施
- ・迎え…8時出発、送り…15時30分出発

車輛は4台使用（送迎車利用者 25名）

リースハイエース : 8名

ハイエース : 8名

ハイエースロング : 5名（うち車いす使用3名）

キャラバン : 4名（うち車いす使用2名）

ウ 利用の状況

月別送迎者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開園日数	21	22	22	21	14	21	21	22	20	20	20	23	247
迎え	439	449	455	443	274	423	437	468	231	401	417	470	4907
送り	366	400	392	379	223	362	380	393	186	334	369	425	4209
送迎	805	849	847	822	497	785	817	861	417	735	786	895	9116

⑦ 日課表

	月	火	水	木	金
8:00	〈送 迎〉				
8:30					
9:00	〈活動準備・清掃〉 利用者登園（更衣・トイレ）				
9:40	朝の集会（活動予定確認）				
	運動（ラジオ体操）				
10:00	（平常） 芸術工芸 空き缶・たまご ほのレク・悠遊	平常	平常 ドライブ （第1・3）掃除	平常 + 卓球（毎週）	平常 英会話
11:10	昼 食 休 息				
13:30	（平常） 芸術工芸 空き缶・たまご ほのレク・悠遊	平常	平常	平常 + マッサージ	ホームシアター + ミーティング
14:30 (片付け)	+ マッサージ				
14:40	降 園 準 備 〈送 迎〉				
16:00					

※月の最終水曜日は 13 : 00 降園
職員は職員会議

⑧ 活動内容

ア 生活支援

通常日課の他、行事、レクリエーション等あらゆる場面において衣服、履物の着脱、食事、手洗い、後片付け、掃除、排泄等の基本的な生活習慣を個別的に支援を行い、必要に応じて家族の協力を依頼し、家庭と共に支援を行った。

イ 活動支援

グループ活動、個別活動により創ることの楽しさ、協業の面白さ、各場面に応じた関わり等で主体的に過ごすことができるように支援した。

⑨ 利用者の状況

活動報告（人数重複あり）

班	人数	まとめ	活動内容
芸術 工芸	15名	はり絵で壁面飾りや東海道五十三次の絵を作成した。雑巾の刺繍もたくさん行い、売れ行きも良かった。来年度は雑巾縫いをメイン活動にして、個々に合った役割の設定を作って行きたい。	製作、貼り絵、壁面飾り作り、体操、室内歩行、ドライブ、散歩 等
空き缶	14名	怪我なく安全に作業が行えることと、利用者さんがやりやすいペースに合わせる環境を設定し、職員が側に利用付き添い支援を行った。	アルミ缶潰し、アルミ缶運び、プルタブ外し、ドライブ、散歩 等
たまご	14名	たまごの殻を潰す作業を、それぞれの利用者さんに合った方法で潰してもらいました。潰した殻を肥料やegg artに使い、商品を作りました。	花の肥料製作（たまごの殻割り）、egg art製作、木工削り（積木磨き）、作品の納品、ドライブ、散歩 等
ほの レク	9名	視覚、聴覚、体を動かして楽しめる活動を行った。職員配置の調整を行いながら、提供する活動内容に週ごとに決めて、感染症対策のため密を避け、道具の共有など配慮した。	紙芝居、すごろく、光の部屋、ホームシアター、ボウリング、ホールインワン、体操、ドライブ、散歩 等
悠遊	12名	看護師と連携して、医療的ケアのある方の外出で地域に買い物に行った。また、季節ごとの製作や愛護ギャラリーの作品づくり等は、ほのぼのと協力して製作を行った。	製作、トランプ、音楽遊び、ホームシアター、光の部屋、紙芝居、ドライブ、散歩 等

⑩ 医療的ケア

医療ケアの内容	利用者数
吸引 口鼻腔 気管切開	7名
経管栄養（胃ろう）	7名
経管栄養（経鼻チューブ）	1名
導尿（圧迫含む）	1名
吸入 酸素吸入	2名
与薬	12名
座薬	6名

⑪ 作品販売実績

	作品売上額	販売品目
芸術工芸	11,200円	雑巾、ポストカード、ブレスレット等
空き缶	142,450円	アルミ缶
たまご	16,500円	花の肥料、egg art 等
悠遊	22,800円	くるみボタン、マグネット等

⑫ 防災訓練実施状況

訓練日時	想定災害内容		反省事項
4月13日(水) 9時45分	地震	震度5	避難時間 5分01秒 車椅子を有効に使用してスムーズな避難ができた。職員同士で声を掛け合い、逃げ遅れの確認や所在確認の連携が取れていた。少ない職員の中、地震発生時に多くの利用者をテーブルの下に避難させることや、ヘルメットを着用して安全確保を行うことができた。
5月11日(水) 13時30分	火災	食堂から 出火	避難時間 5分25秒 避難時、マットや車椅子を活用して、安全に避難することができた。所在不明利用者を点呼確認時に気付くことができた。
6月15日(水) 13時30分 ※時間周知なし	地震	震度5	避難時間 3分55秒 ヘルメットと防災頭巾の両方を使用して、避難することができた。点呼時に職員間で声を掛け合い、利用者の所在を共有し合うことができた。放送がかかった際、落ち着いて周囲の利用者を机の下に誘導したり、頭部を保護する介助ができていた。
7月13日(水) 9時55分	火災	悠遊から 出火	避難時間 5分45秒 避難時、車椅子を有効に使用して、素早く避難することができた。職員間で連携して、マットの運搬や椅子の運搬を行い、利用者の安全確保をすることができた。夏場、外への避難は熱中症の恐れがあり、利用者の安全を配慮するため、屋根下へ避難場所を設定する余地あり、今後は玄関軒下や木陰を避難場所とする。
8月31日(水) 9時45分	地震	震度5強	避難時間 3分31秒 コロナの感染対策も含め、各部屋での待機、点呼を実施。利用者と職員共に一定の距離を保ち、待機することができた。職員間で声を掛け合い、点呼や利用者の安全確保をスムーズに行うことができた。
9月14日(水) 10時15分	総合防災訓練 震度7		避難時間 5分48秒 車椅子を使って効率よく避難をすることができた。点呼や避難誘導など個々の職員が連携をして、スムーズに避難することができた。
10月13日(木) 20時00分 (短期入所)	地震	震度5	停電した想定で暗闇の中、停電時用天井照明を点灯させた状態で避難した。強い明るさではなかったが避難するには十分な明るさだった。避難状況を職員連絡網で回したが、職員全員と連絡が取れなかったので、再度連絡体制の確認を行った。
10月26日(水) 10時42分	火災	たまご作 業棟より 出火	避難時間3分46秒 職員間で声を掛け合い、避難後の利用者さんの安全確保や避難誘導を安全に避難することができた。

			<p>車椅子を使用したりして、素早い避難ができた。</p> <p>今回は比較的安全な場所に避難をしたため、セラピーマットは使用せず、必要最低限のクッションチェアと椅子を使用して、効率的な避難をすることができた。</p>
11月17日(木) 10時50分	地震	震度5	<p>避難時間 4分26秒</p> <p>点呼時、職員間で声の掛け合いを行い、スムーズに点呼を行うことができた。</p> <p>セラピーマットだけでなく、長椅子の運搬も避難場所へ運搬を行い、避難後に安全に待機することができた。</p> <p>避難場所への距離は短かったが、ヘルメットの着用ができた。</p> <p>避難時に車椅子を使って、素早い避難ができた。</p>
1月11日(水) 10時30分	火災	食堂から 出火	<p>避難時間 3分40秒</p> <p>職員間で声を掛け合い協力して、素早く避難することができた。</p> <p>車椅子を使用して、スムーズに避難できた。</p> <p>点呼時、職員が率先して避難した利用者の報告を行い、点呼もスムーズに行えた。</p> <p>ベランダのベンチ、クッションチェア、マットを使い、避難場所の安全確保ができた。</p>
1月25日(水) 9時25分 ※時間周知なし	地震	震度5	<p>避難時間 4分40秒</p> <p>ヘルメット着用の声を掛合うことで、意識して避難することができた。避難場所が近場ということもあり、素早い避難ができた。</p> <p>避難場所にクッションチェアやマットを敷き、安全確保ができた。</p>
2月16日(木) 10時00分	火災	ホール から出火	<p>避難時間 5分08秒</p> <p>利用者の出欠状況や所在の確認を職員間で連携して情報共有することができ、スムーズに点呼を行う事ができた。</p> <p>車椅子を有効に活用して避難することができ、避難後も安全確保をすることができた。</p> <p>避難場所でのマットやクッションチェアを職員間で声掛けして運ぶことができた。</p>
3月9日(木) 20時00分 (短期入所)	地震	震度5	<p>避難の際は落ち着いて移動ができた。暗い中でも安全に避難経路を確保できた。</p> <p>訓練結果を職員連絡網で回した。連絡体制の確認を再度行うようにする。</p>
3月29日(水) 9時53分	地震	震度5	<p>避難時間 4分37秒</p> <p>対応できる職員の人数が多く、職員間で連携をとり、避難の際に必要な物品の持ち出しを声をかけてできていた。逃げ遅れの確認はしっかりできており、救急バッグの持ち出しもできた。</p> <p>避難後、待機している利用者間で手が出そうになっていることがあった。避難後の利用者の距離感も注意が必要。訓練時は、玄関付近に人が集まり、あとから避難の人が出にくい状況になっていた。</p>

(2) 障害児通所支援事業（放課後等デイサービス事業）

① 事業の目的

学校へ通学する障害児・重症心身障害児に対し、日中や放課後の活動場所と利用者を中心とした活動を提供する。

また、障害児・重症心身障害児の自己選択と自己決定が尊重され、一人ひとりが主体的に、その人らしく充実した生活が実現できるように支援することを目的とする。

② 対象者

障害児、重症心身障害児

③ 利用登録者数

6名(男5、女1)

④ 活動報告

本人たちがやりたい意欲を示す遊びや学びを一緒に探して、継続して楽しめる活動を行った。中には意欲を引き出すことが困難な方もいらっしゃるなので、何で意欲を感じるのかを見出す課題はある。

⑤ 利用者の状況

月別利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	9	8	13	11	5	11	11	12	7	10	9	12	118日
延べ利用者	10	14	27	21	10	24	19	19	13	18	17	21	213人

⑥日課表

平常時

時間	月	～	金
14:30	送迎 ・学校との連絡、情報交換		
15:00	登園 ・登園、利用者受入れ ・健康チェック ・水分補給 活動 ・利用者に応じた活動を行う (療育、散歩、外出、レクリエーション、リラクゼーション 等)		
17:00	降園 送迎 ・保護者との連絡、情報交換		

長期休暇中

時間	月	～	金
	送迎 ・保護者との連絡、情報交換		
9:00	登園 ・健康チェック ・水分補給		
9:45	・朝の会 (出席、活動内容の確認)		
10:00	・利用者に応じた活動を行う (療育、散歩、外出、レクリエーション、リラクゼーション 等)		
11:30	・昼食準備		
11:45	・昼食を食べる ・休憩		
13:30	・利用者に応じた活動を行う (療育、散歩、外出、レクリエーション、リラクゼーション 等)		
16:00	降園 送迎 ・保護者との連絡、情報交換		

(3) 短期入所事業

① 事業の目的

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った、適切かつ円満な指定短期入所支援の提供を確保することを目的とする。

② 対象者

知的障害者、重症心身障害者

③ 定員

一日あたり 5 人とする。

④ 利用登録者数

17 名

⑤ 利用日

毎月第 2 木・金曜日

※利用希望多数の場合は第 3 木曜・金曜日にも実施予定としたが、今年度は実施実績なし。

⑥ 活動内容

利用者が日常生活における適切な習慣の充実と、社会生活への適応性を高めることができるよう支援した。利用者本人の特性や個性に配慮し、利用者の状況に応じた支援を行いながら、健康管理にも努めた。

⑦ 利用状況

月別利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	0	2	2	2	0	0	2	2	0	0	2	2	14日
延べ利用者	0	8	8	10	0	0	8	8	0	0	8	6	56人

・ 4月はコロナまん延防止等重点措置解除後、間もなくだったため自粛。

・ 8月、9月、12月、1月は学園内でコロナ感染者が出たため自粛。

(4) 日中一時支援事業

① 事業の目的

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な日中一時支援事業の提供を行うことを目的とする。

② 対象者

知的障害児（者） 重症心身障害児（者）

③ 定員

1日あたり5人とする。なお、重症心身障害児(者)については2人とする。

④ 活動内容

食事の提供、身体等の介護、健康管理、利用者又は家族に対する相談及び援助、その他の利用者の心身の状況に応じ、利用者の自立の支援と日常生活の充実に資するために必要な支援を行った。

⑤ 利用日

月曜日～金曜日までは、16時から19時まで 土曜日は、9時から16時まで

⑥ 利用状況

月別利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	23	24	24	23	19	21	21	24	21	22	22	25	269日
延べ利用者	45	37	50	45	20	36	48	54	24	47	41	36	483人

- ・日中一時を多くご利用していた方のご利用をやめた利用者さんがいたことと、コロナ感染者が出た影響で延べ利用者人数は前年度に比べ減少している。

(5) 入浴サービス事業（生活介護事業）

① 事業の目的

家庭において入浴することが困難な障害者に対し、社会福祉法人磐田厚生会おおふじ学園の機能を利用して入浴サービスを行うことにより、当該障害者及びその家族の福祉の向上を図ることを目的とする。

② 対象者

身体障害者福祉法に規定する級別2級以上（肢体不自由）に該当し、身体障害者手帳を有する者であって下記の項目に該当する者とする。

ア 肢体に著しい障害があるため居宅の入浴設備において入浴することが困難な者。

イ 医師が入浴を可能と認めた者。

③ 利用登録者数

10名

④ サービスの内容

ア 入浴及び洗髪

イ 衣服の着脱

ウ 血圧、脈拍及び体温の測定

⑤ 利用料金

入浴サービスの提供により利用者から受領する費用の額は、1回当たり500円とする。

⑥ 利用状況

月別利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	21	22	22	21	14	21	21	22	20	20	20	23	247日
延べ利用者	42	46	48	50	17	36	28	45	24	38	45	45	464人

・コロナ感染者が出た影響で延べ利用者人数は前年度に比べ減少している。

(6) 相談支援事業（サポートセンターおおふじ）

① 事業の目的

利用者又は障害児者の保護者（以下「利用者等」という。）の意志及び人格を尊重し、常に当該利用者等の立場に立って行う。利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように配慮し、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者等の選択に基づき、適切な指定計画相談支援等の提供を確保することを目的とする。

② 対象者

身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児（身体・知的・精神）

③ 利用登録者数

「身体・知的障害者」・・・40名（うち学園外部7名）

「障害児（身体・知的・精神）」・・・11名（うち学園外部9名）

総登録者数・・・51名

④ サービスの内容

アセスメントに基づき、当該地域における指定障害福祉サービス等が提供される体制を勘案して、当該アセスメントにより把握された解決すべき課題等に対応するための最も適切な福祉サービス等の組み合わせについて検討した。利用者及びその家族に対する意向、総合的な援助の方針、生活全般の解決すべき課題、提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期、福祉サービス等の種類等を記載したサービス等利用計画の作成をした。定期的にモニタリングを実施し報告書を作成した。また、計画作成以外でも相談があれば対応した。新規サービス利用、新規事業所利用などの相談も実施した。

⑤ 利用状況

月別利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画	2	2	2	2	1	3	2	3	3	1	2	3	26件
モニタリング	9	14	9	8	14	7	9	17	10	8	16	8	129件

- ・今年度は新規利用者の方はおらず、前年度同様総登録者は51人となった。内部利用者に関しては高齢世帯が増加しており、今後についての不安や、家族の体調不良時についての対応が増えてきた。